

特定非営利活動法人 ユナイテッド・アース

2023 年度（第 18 期） 活動報告書

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

活動報告とご挨拶

特定非営利活動法人ユナイテッド・アース

理事長 淵上智信

初めに、令和6年1月1日に発災した能登半島地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様
に心よりお見舞い申し上げます。私たちユナイテッド・アースでは、地震発生直後から緊急支援チームを
立ち上げ、先遣スタッフが各被災地の現地調査を行い、協議を重ねた結果、他の支援団体の手が行き届い
ておらず、長期的に産業復興の支援を必要とされる地域として、『石川県七尾市』に活動拠点を設け石川
事務局と連携し現地での活動を進めてまいりました。復興までは時間を要するかと思いますが、現地の
各自治体・地元団体と連携し、そして何より、被災された皆様の心に寄り添いながら、一日も早い復興を
目指し、皆様から頂いた支援金を元に支援活動を進めていきたいと考えております。

またユナイテッド・アース第18期(2023年4月1日～2024年3月31日)の活動として、新たにUE
<奈良>事務局の開設、未曾有の大災害となったトルコ・シリア地震における小学校への支援活動、カン
ボジアの自立支援活動においては井戸の建設数が290基を超え、現地からも喜びと感謝の声を多数いた
だいております。

このような取り組みを進めることができましたのも理事の皆様をはじめ全国各地からエールを届けて
くださる皆様のおかげであると心より感謝申し上げます。さらに今期(第19期)を迎え、ユナイテッド・
アースでは、数年前より掲げている「社会づくり十策」を加速度的に推進すべく取り組みを進めておりま
す。

世界では終わりの見えない紛争、産業、経済は混迷を極め、予測困難な時代のさなかにあると思いま
す。日本社会に目を向けると、少子高齢化に伴う地方の疲弊、産業の低迷、貧困の連鎖、さらに多発する
自然災害、世界経済の低迷、二極化する格差社会など、地球規模の社会課題が、ますます大きくなってい
ます。日本が抱える問題を打破するため、今こそ、地方から日本を変えていくこと、地域活性化に繋がる
新しい社会モデルを各地で創ることが必要であると考えます。

誰かの犠牲の上に成り立つのではなく、誰かに依存するのでもない。

その地域に暮らす人々が自ら生み出し、互いに享受し、信頼のもとに繋がり合い、幸福な生活を送るこ
とが出来る社会を次の世代の子供達に残したい。

社会問題の真実が伝わりにくい状況の中、いかに本質を見極め、「利他の文明」に社会を転換していけ
るのか…本年も新たな社会モデルの実現に向け、共に志を実践していければと願っておりますので、今
後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

1. 第 18 期 活動報告

1) 災害復興支援

◆ 令和 6 年能登半島地震 復興支援 (実施 2024 年 1 月～)

NPO 法人ユナイテッド・アースでは、令和 6 年 1 月 1 日に発災した能登半島地震の復興支援活動を目的に「災害支援チーム」立上げ支援活動を実施いたしました。

地域の復興を進めていく上で、産業の復興が重要であるという観点から、「生活復旧」と「産業復興」を並行して支援活動を行い、1 日でも早い復興に向けてサポートを開始。特に観光産業の被害が大きい和倉温泉や能登島がある、石川県七尾市に支援ベース（活動拠点）を構え、能登島での活動を中心に支援活動を実施しました。日々被災地域の状況が変化中、公助の支援では手が届きにくい、スポットがあたらない方々に目を向け、探し出し、必要な支援を届けていくという想いのもと、石川事務局が中心となり、全国から集まったボランティアの仲間、現地の方々、自治体や企業とも連携しながら、支援活動を展開しています。(2024 年 6 月現在も活動中)

■ 主な活動内容

「産業復興支援」においては、地域の復興を進めていく上で、産業の復興することが非常に重要であるという観点から、主に地域の復興イベントのサポートや、能登島の旅館の清掃活動等を実施。

「被災者の生活再建」においては、地域の社会福祉協議会、ボランティアセンターと連携しながら、被災された家屋の清掃や災害ゴミの運搬等の支援を行い、被災者の生活基盤の立て直しをサポート。

【能登半島地震復興支援これまでの主な活動支援実績

(令和 6 年 3 月 31 日時点)

ボランティア動員人数 述べ 579 名

民家の家屋内清掃	23 件
能登島の民宿の家屋内清掃	11 件
壊れた外壁の撤去作業	5 件
災害ゴミの運搬	13 件



【活動記録】

1 月 2 日より緊急支援募金の受付を開始
独自寄付ページ+Yahoo!募金の掲載



1 月 5 日より先発調査隊が石川県に入り被害状況の視察。



物資支援

発災直後より集積拠点を作り、石川事務局（コマネー株式会社／本社小松市）を中継地点に、4トントラックでピストンし、物資を各所に届ける。



神戸市のパン屋（BENCHi）と連携、避難所の子供達に惣菜パンを寄贈



株式会社イノチオ様より心の支援としてお花のお渡し



3台の洋式災害仮設トイレを設置誘致（旅館・保育園等）



産業復興支援

能登島のえの目地区近隣を中心に民家の家財道具の整理や清掃活動

災害ごみの運搬



能登島にある旅館の片づけ支援



能登島の子供たち向けの野球教室を実施



一本杉復興マルシェの運営ボランティア実施（3回実施）

石川県七尾市一本杉通り商店街で2024年2月より地元の産業を支える一本杉復興マルシェが毎月開催。ユナイテッド・アースでは、会場の設営・撤収・販売サポートなど、諸々の運営ボランティアを担当。



◆トルコ・シリア地震支援（実施 2023 年 10 月）



2023年2月6日トルコ南部・及びシリアで発災した地震により、数多くの命が奪われました。トルコでは倒壊などの大きな被害を受けた建物は20万棟にのぼり、人口の16%に相当する1400万人が住まいを失うなどの多大な影響をもたらしました。ユナイテッド・アースでは緊急支援として支援金の募集や定期的な街頭募金を行い、「トルコ南部ハタイ県サマンダー」というシリア国境近くの、地震被害が甚大だった地域の学校へ教室の壁の補修や塗装、子ども用の椅子、テーブル、文具、おもちゃ等をお贈りさせていただきました。

1) イベント開催

◆UE-Café 奈良（実施：2023年12月2日）

新たに、UE奈良事務局が始動いたしました。12月2日（土）に、第1回UE-Cafe@奈良を開催。当日は、若者を中心に約50名が参加し、今ある社会課題に対して共に学び、熱く語り合う場となりました。今後も、地域の皆様と共にUE-Cafe@奈良を定期的で開催してまいります。



◆UE-Café 石川（実施：2023年5月29日・2023年11月21日）

石川事務局では、「UE-Café 小松」を半年に1回ペースで定期的開催。令和6年1月に発災した能登半島地震の際にも、石川事務局として地域のネットワークを活かした迅速で継続的な支援を展開することができました。



◆ピースフレイム・ムーブメント（実施：2023年8月9日）

石川事務局主催のオンラインピースフレイムムーブメントを本年も開催。「本物の原爆の残り火」を見つめながら、平和について、学び・語る機会を作りました。



3) 海外支援

◆井戸・トイレ支援：(通年を通して実施)

【2024年度】井戸 19 基を新たに支援・トイレを 3 基新たに支援

2009年の支援開始以降、累計で井戸 296 基とトイレ 9 基を設置することができました。以前は 1 基の井戸を 5 家族ほどで使用していましたが、現在では 1 基の井戸を 1~2 家族で使用できるようになり、地域の生活衛生面が大幅に改善されました。

数年前まで電気も水道もなく、井戸のない家が多くありました。そのため、幼い子どもたちや女性が 1km 以上離れた水汲み場までバケツを持って徒歩で何往復も水を汲みに行く生活が当たり前でした。しかし、近年になって電気が村に通るようになり、過去にご支援いただいた井戸にモーター式のポンプを新たに設置する家庭も増えてきており、皆様のご支援が村の生活に大きく貢献していることを感じています。以前よりも豊かな暮らしが実現しつつあることに、心から感謝申し上げます。

